

三府県との連携による 国際森林年記念行事

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

滋賀県、京都府、大阪府及び近畿中国森林管理局の連携による国際森林年記念行事を琵琶湖・淀川流域においてリレー形式で実施します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

近畿中国森林管理局は、平成17年3月に滋賀県、京都府、大阪府と琵琶湖・淀川流域の民有林・国有林が連携して森林環境の保全と整備に取り組む内容の覚書を取り交わし、森林環境の保全・整備連絡調整会議として毎年様々な活動を行っています。

今年は、国際森林年にちなみ、3府県で市民が参加する「森を歩く」、「森を学ぶ」、「森を語る」、「森をつなぐ」の4つの行事をリレー形式で開催いたします。

第1弾は、「森を歩く」で、滋賀県で「びわ湖を支える水源の森林体験ツアー」を行います。（以下の添付資料を参照して下さい。他の行事は、随時照会して参ります。）

問合せ先：近畿中国森林管理局
流域管理指導官 竹井
TEL 050-3160-6733
FAX 06-6881-3476

市民と森林をつなぐ国際森林年の集い

in 琵琶湖・淀川流域



2011・国際森林年

2011年は国際森林年です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域」は、滋賀県、京都府、大阪府等と農林水産省が開催する国際森林年記念事業です。上流域の水源の森から、下流域の都市部まで琵琶湖・淀川流域を一体としてとらえた、連続企画を開催します。

国際森林年の日本国内でのテーマは「森を歩く」です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い」では、「次世代への継承」をキーワードに実施します。森林は、木材などの生産の場であるとともに、水を育み、災害を防ぎ、環境を守り、心を癒すなどたくさんの恵みを与えています。

琵琶湖・淀川流域の森を歩き、森林の恵みや木を活かす知恵を次世代に継承する取組を行います。流域で考えることで、上流域の森林から下流域の都市までがつながり、ともに支え合って生きていることを実感することができます。滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局は、平成17年3月に、琵琶湖・淀川流域の民有林・国有林が連携して森林の保全整備に取り組む覚書を取り交わし、森林環境の保全・整備連絡調整会議として毎年様々な活動を続けています。今年は、国際森林年にちなみ、各府県で市民が参加する行事等をリレー形式で開催いたします。

第1弾 「森を歩く」

びわ湖を支える水源の森林体験ツアー（びわ湖の日30周年）
2011年7月23日（土） 滋賀県長浜市（山門水源の森ほか）

第2弾 「森を学ぶ」

シンポジウム「国産材を活用したヒートアイランド対策」
2011年8月17日（水） 大阪木材会館

第3弾 「森を語る」

野外シンポジウム「森を語る～以森伝心～」
2011年8月27日（土） 京都府立植物園

第4弾 「森をつなぐ」

シンポジウム「未来に向かって、森を活かそう」
2011年10月予定 大阪市内



市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域 お申し込みが必要です



第1弾「森を歩く」 びわ湖を支える水源の森林体験ツアー (びわ湖の日30周年)

豊かな森は、豊富な水をたくわえて私たちに与えてくれます。森と水の深い関わりを確かめながら、琵琶湖・淀川流域の源流である森林を歩きます。

日時: 2011年7月23日(土) 10:00~16:00 ※小雨決行
場所: 山門水源の森(長浜市西浅井町山門)、
長浜市西浅井文化ホール(長浜市西浅井町大浦)

参加費: 無料(弁当持参) **申込みは、右下欄参照**
主催: 滋賀県 共催: 長浜市、森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局 後援: 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会、(財)滋賀県緑化推進会、(社)滋賀県造林公社、(財)びわ湖造林公社

第2弾「森を学ぶ」 シンポジウム「国産材を活用したヒートアイランド対策」

森林は、林業の場でもあります。森林を育て、地球温暖化対策に貢献するとともに、国産材を建築物にうまく活用して、都市にも快適な暮らしをもたらすことができます。新しい活用方法を通じて、「木づかい」を学びます。

日時: 2011年8月17日(水) 13:30~16:30
場所: 大阪木材会館(大阪市西区新町3-6-9)

参加費: 無料
主催: 大阪府、(社)大阪府木材連合会 共催: 国産材を活用したヒートアイランド対策協議会、森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局

第3弾「森を語る」 野外シンポジウム「森を語る〜^{いしん でんしん}以森伝心〜」

修験の場としての森、人々の暮らしを支えてきた里山、市民の憩いの場である街なかの緑。様々な形で私たちの心や暮らしと深く関わっている森林について、植物園の木陰で語りあいます。

日時: 2011年8月27日(土) 13:30~16:00
場所: 京都府立植物園(京都市左京区下鴨半木町)

参加費: 無料
主催: 京都府、京都モデルフォレスト協会 共催: 森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局

第4弾「森をつなぐ」 未来に向かって、森を活かそう

流域を考えると、森と人とが近くなります。上流域から下流域までの人たちが世代を超えて森を守り、使い、育てることで、豊かな暮らしと、土地と水も守られます。また、森林は健康、教育の場として注目されており、これからの価値がさらに高まります。未来に向かって森を活かすためにも、次の世代につないでいくことが必要です。

日程: 2011年10月下旬
場所: 万博記念公園内

参加費: 無料
主催: 大阪府、(独)日本万国博覧会記念機構 共催: 森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局



<2011 国際森林年関連事業>「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域」の開催について

7月23日(土)、林野庁近畿中国森林管理局は、滋賀県等との共催により「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域」と題した連続企画の第1弾を開催します。なお、イベントは公開です。カメラ撮影も可能です。

趣旨

2011年は国際森林年です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い」は、「次世代への継承」をキーワードに実施します。このうち「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域」は、滋賀県、京都府、大阪府等と林野庁近畿中国森林管理局が開催する国際森林年記念行事です。上流域の水源の森から、下流域の都市部まで琵琶湖・淀川流域を一体としてとらえた、連続企画を開催します。

第1弾は、国際森林年の国内テーマを踏まえ、「森を歩く」と題して、「びわ湖を支える水源の森林体験ツアー(びわ湖の日30周年記念行事)」を開催し、琵琶湖・淀川水系の源流である森林を歩き、森と水の関わりを、流域のみんなで考える集いとしています。

開催日時・会場

日時：2011年7月23日(土) 10時00分～16時00分 ※小雨決行

場所：山門水源の森(長浜市 西浅井町山門)、長浜市 西浅井文化ホール(長浜市 西浅井町大浦)

なお、8月から10月にかけて大阪府、京都府等で4つの連続イベントを開催することとしています。

プログラム

10時00分 講演「びわ湖の水の源を考える」 只木 良也氏(国民森林会議会長、名古屋大学名誉教授)

11時00分 森林体験ツアー事前説明 藤本 秀弘氏(山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会)

11時30分 昼食、移動

13時00分 森林体験ツアー(約15人ごとのグループ)

16時00分 終了

参加申し込み方法

入場は無料、定員は親子で100名です。入場には事前申し込みが必要です。定員になり次第、申し込みを締め切ります。

問い合わせ・申込み

滋賀県 琵琶湖環境部 森林政策課 林政規格担当 北川、世戸

電話番号：077-528-3914(直通)

URL：<http://www.pref.shiga.jp/hodo/e-shinbun/dj00/20110630.html>